

看護学教育モデル・コア・カリキュラムと保健師教育を考える 緊急集会 報告

平成 29 年 7 月 2 日（日）に東京都港区にある航空会館に、全国の会員校から 140 人の皆様にご参加いただき、緊急集会が開催されました。



文部科学省で看護学教育モデル・コア・カリキュラム（以下、看護学モデルコアカリ）の検討が進められる中、保健師教育の充実をめざして、どのように教育するか、ともに考えよう！という趣旨で、岸会長のあいさつの後に講演とグループワークが行われ、活発な意見交換がされました。参加者から「看護学教育を考えることで改めて保健師教育とは何か考える機会となった」などの感想が聞かれ、大勢の皆様と保健師教育の向上に向けて意見を共有できたことに感謝申し上げます。

1. あいさつ 岸恵美子会長

今後、文部科学省から看護学モデルコアカリ案が提示されパブコメが募集されるので、各校からぜひパブリック・コメントを出してください。

2. 「看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて」講演 野村美千江副会長

看護学モデルコアカリ案の背景と概要について
資料は下記 URL を参照してください。

URL : <http://www.zenhokyo.jp/doc/core-curriculum-2017-kouen.pdf>

3. 「看護学教育モデル・コア・カリキュラム案（6月15日）への意見募集結果」報告

荒木田美香子副会長

- ・ 32 会員校から意見が出された
 - ・ 看護学モデルコアカリ全般については、対象の範囲、保健師教育との関連のわかりにくさ
 - ・ 内容の重複や用語の整理の必要
 - ・ 学修目標の抽象度や到達レベル、学習目標の構造について
 - ・ 社会と看護学での看護基礎教育のレベルと内容の過不足
 - ・ 看護学基礎の内容
 - ・ 公衆衛生看護学の専門性を高める必要
- など

4. 意見交換（3人～4人のグループで意見交換）

【意見交換のポイント】

看護基礎教育は保健師助産師看護師 3 職種の基盤である。医療改革が進む中で地域包括ケアが推進され、看護師も地域で活躍する存在として考える。



【グループワークの内容（一部抜粋）】

テーマ①看護師課程における地域看護学の内容とかわり

- ・ 「地域で生活できるようにする」ことが看護であり、看護師課程の地域看護学はその力をつけるための教育
- ・ ヘルスニーズが顕在化し、自分から相談に行く人への対応は地域看護学の内容
- ・ 地域の捉えは、人をとりまく背景として地域の理解、地区踏査の実施
- ・ 地域包括ケアシステムの重要性を理解し、活用するレベル
- ・ 地域の課題を捉える視点の必要性の理解、地域で暮らす人としての理解
- ・ 疾病予防の必要性の理解、個人・家族を対象とした保健指導の実施 など

テーマ②保健師課程における公衆衛生看護学教育の内容と見直しが必要なこと

《教育内容》

- ・ 保健師の活動の理念と目的、いのちを守る、地域を守ることが役割であり、システム論の確立が必要
- ・ ニーズの見えない（潜在的、自分から相談できない、地域包括ケアのはざまの）人への支援
- ・ 集団・組織に対する看護
- ・ 地域組織活動、ソーシャルキャピタルについての教育の充実
- ・ 施策化、マネジメントの実践能力習得の教育強化が必要
- ・ 地域診断でデータ収集、分析、健康課題の抽出し、政策提言までを行う
- ・ 個から地域をみて、施策化、事業化のつながりを学ぶ演習が必要
- ・ 住民とかわり、住民から学ぶこと、地域の文化を学ぶフィールドワークが重要 など

《見直しが必要なこと》

- ・ ベテラン保健師の暗黙知の技術の見える化が必要
- ・ 保健師教育として最低必要なところは何か、必要最低限の時間の規定
- ・ 助産の分娩件数のような例えば訪問件数などの条件づけで質を保証することが重要
- ・ 継続訪問はどのようにしたら可能になるのかを考える必要
- ・ 教育目標は出されるが、教育現場は厳しい状況で、実習の場の確保の働きかけが必要
- ・ 現場とともに教育内容の見直しが必要
- ・ 各領域の教員の共通理解が必要（地域看護学と公衆衛生看護学、地域連携とチーム医療、地域ケアシステムなどの言葉）

5. まとめ 佐伯和子保健師教育モデル・コア・カリキュラム検討委員会委員長

看護学コアカリができることで看護師として必要な能力が明確化される。看護師の仕事の変化が、教育内容の変化になる。自分達の学校のカリキュラムを考えるチャンスである。

看護の拡大によって、保健師の役割も変わる。保健師教育には何が必要かを考え、公衆衛生看護学のコア・カリキュラムを教員自身が納得できるように作っていくことが求められる。

8月の夏季研修会での話し合いの機会を経て、10月の秋季研修では保健師モデルコアカリの原案を提示できると思う。保健師教育の内容、体制をどうしていくかなど課題は多いが、看護学モデルコアカリに取り組むことで、保健師教育の変革が可能なチャンスと考えて取り組みましょう。